記念講演

富士山と私

講師　山岳写真家

白籏史朗氏　開催

富士砂防だより

発行
富士山直轄砂防
２０周年記念事業
実行委員会
建設省
富士砂防工事事務所
富士宮市三園平1100
電話（0544）27－5221

『創り出そう、富士山との　優しいふれあいを。』を合言葉に、地元の二市一町の首長及び関係機関の協力のもとに進められている、富士山直轄砂防二十周年記念事業の一つである、『記念講演会』が、去る二月八日にホワイトパレス富士市農協会館において、山岳写真家、白籏史朗氏を講師に迎え、『富士山と私』のテーマのもとに、一般参加者など聴講者五五〇名が集まり盛大に開催されました。

当日は、富士山直轄砂防二十周年記念事業実行委員会を代表して、副委員長の鈴木清見富士市長より

『富士山は文化をはぐくみ、人々の心を支えてきた貴重な財産であり、後世のためにも是非守らなければならない』

とのあいさつがありました。

続いて、寺本和子富士砂防工事事務所長から、世界各地の山に登り多くの写真を撮影され、山岳写真の第一人者として活躍中の講師の紹介があり、講演が始まりました。

講演は、富士山の生い立ちから始まり、山との関わり、写真家への動機、「好きだから、美しいから」という富士山への思いと続き、後半は、長年にわたり撮影された数多くの富士山の写真が、スライドで紹介されその美しさは会場の人々を魅了し、歓声と拍手のなか盛会裏に終えました。

植樹祭

平成2年5月10日に白糸小学校緑の少年団110名によって大沢扇状地において、「緑の砂防ゾーン」を合言葉に植樹が行われました。

千葉県まで飛んだ風船、手紙の返事がきたぞ！

〒418-02 静岡県富士宮市原1115
富士宮市 白糸小学校内 4年
伊藤 悟君へ

伊藤君、お元気ですか。
とつぜんの事でびっくりしたと思います。
私のお父さんが、畑仕事に行って風船についていた紙をひろって私の所に持ってきましたので、お便りを書きました。
では私の自己紹介をします。いいですか。

名前　成瀬 雅美（なるせ まさみ）
学年　中学2年
兄妹　兄（高校3年生）
家族　父母、兄、祖父母、私の6人家族
クラブ　テニス
好きな教科　音楽　国語
きらいな教科　社会　理科
好きな食物
きらいな食物　特別なし。何でもたべます。
以上です。

次に、私の通っている学校の事を教えます。
私が通っている中学校は、八樹（やつぎ）中央中学校と言います。
生徒数は、約1100人位います。
2年生は9クラスあります。大変大きい学校です。
校舎は3階建で2棟あります。
運動場は大変広くて放課後になると野球で大変にぎやかになります。
まわりには木がたくさん植えてあるので4月の上旬には満開でとてもきれいです。
伊藤君の学校も緑が多くてきれいな学校のようですね。これからも自然を大切にして、美しい学校を皆さんで守っていって下さい。
最後に私のほんでいる所を紹介します。
私のほんでいる所は千葉県印旛郡八樹町八樹0-28という所です。成田空港から車で30～40分位の所にあります。又、千葉県の県庁所在地、千葉市から20km位です。

何年か前までは畑がたくさんあり暮らしになるも八樹名物のほこりがとんで想像もつかない程になる事がありました。でも1年毎に宅地化が進んで住宅ができて他県から越してくる人が増えてきています。以上です。
文がよくまとまらなくてゴメンナサイ。
体に気をつけて、お互いに勉強、運動にがんばりましょう。
サヨウナラ！

289-11
ADDRESS 千葉県印旛郡八樹町八樹0-28　NAME 成瀬 雅美

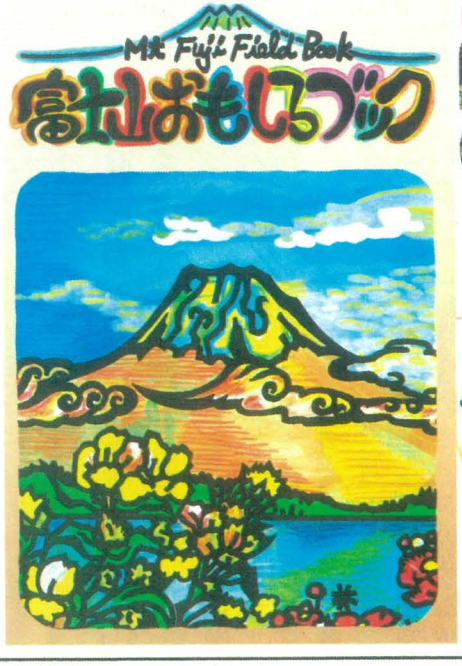
僕らの夢を風船にのせて飛んでいけ▼

◀"大きく育て"の思いを込めて一本一本ていねいに植樹しました

◀実行委員長 富士宮市長のあいさつ

富士山おもしろブック発行

小学生の現場見学者に砂防事業をより理解してもらうため、フィールドブックとして「富士山おもしろブック」を作成しました。この本は、写真・イラストを多く使用し、見学者が自分で書き込み、遊び心をもって、砂防事業や富士山の自然について学べるよう、わかりやすく記載しております。



グラフ見学会

平成2年度も、これまでに多くの方々が、大沢崩れの見学に訪れました。

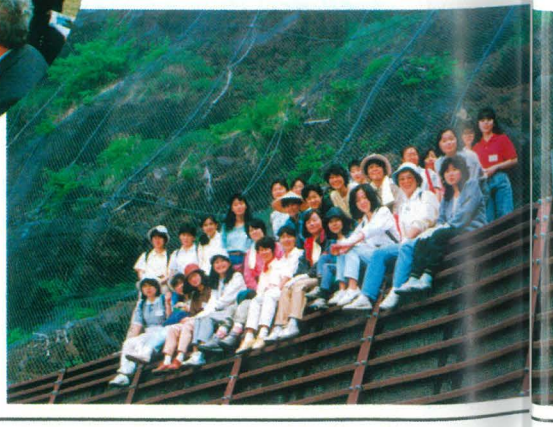
６月22日　富士根北小学校、東小学校／200名
　　23日　女性土木技術者の会、その他報道関係者／30名
　　26日　昭和会（建設業協会、昭和生まれ）／30名
　　28日　JAICA見学生（国際協力事業団）／10名
　　29日　富士根南小学校／230名
７月２日　御殿場市一行（助役他）／30名
　　４日　シンポジウム講師（原田、土、増沢先生他）／10名
　　５日　大宮小学校／120名
　　その他／100名

▲話題を呼んだ壁画の前にて説明を受ける地元の小学生

砂防施設を見学するＪＡＩＣＡ（国際協力事業団）の研修生▼

▲地域住民を守る砂防施設を実際に見て触れて、学んでいくこどもたち

◀地元小学生も多数見学に来ています



▶大沢峡谷部を訪れた女性技術者の会

皆さんの参加をお待ちしています。

富士山を知ろう

シンポジウム
「富士山のなりたちと明日の姿」

●趣旨

私たちは富士山の自然とその雄姿に支えられ生活し、文化を育ててきました。この富士山の恵みを未来につなぎ、地域の人々の安全を確保するために砂防工事が続けられています。今年は事業着手以来20年となります。

富士山のこれまでを振り返り、これからの地域の発展について考える機会として、シンポジウムを企画いたしました。

●プログラム

■第一部　富士山のおいたちとかかわり

1）富士山の地形と地質　土　隆一 氏（静岡大学理学部教授・地球科学）
2）富士山の植物　増沢武弘 氏（静岡大学理学部助教授・生物学）
3）富士山と生活　若林淳之 氏（静岡学園短期大学学長）
4）富士山の保全　保科幸二 氏（建設省砂防課土石流対策官）

■第二部　明日の姿

・わが町の今後の展望
1）富士宮市長　吉田　廉 氏
2）富士市長　鈴木清見 氏
3）芝川町長　鈴木邦雄 氏

■第三部　パネル・ディスカッション

「富士山と地域の明日の姿」について
コーディネーター　原田誠治 氏

1990年8月21日(火)
開場12：30　開会13：00
会場／富士宮市民文化会館（小ホール）
●参加費／無料
●申込み／電話で下記にお申込下さい
建設省富士砂防工事事務所
TEL0544－27－5221(代)

作品募集

〔小中学生作文・絵画募集〕

1．募集受付期間／平成2年8月1日(水)～9月15日(土)
2．募集受付場所／建設省富士砂防工事事務所（富士宮市三園平1100）
3．応募資格／富士宮市・富士市・芝川町在住の小中学生
4．テーマ／富士山にかかわるもの
5．表彰／優秀作品は「記念式典」で表彰いたします。
6．応募方法
作文／400字詰め原稿用紙2枚以内
絵画／B列3版（タテ515㎜×ヨコ364㎜）油絵具を除く画材（例えば水彩絵具、アクリル絵具、クレヨン、ボールペン、パステル、色鉛筆など）を使用したものに限る。

※詳細は各学校でおたずね下さい。